

青陵

ごあいさつ



同窓会副会長
武部 洋治
(15期)

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。平素より同窓会活動にご協力いただき心よりお礼申し上げます。

同窓会だより「青陵」を同窓会会員全員に配布するようになりまして今回で3年目となりました。少しずつ交流の輪が生まれているようで喜ばしいことです。

さて、総合選抜制度廃止により、文部科学省から天城はスーパーサイエンススクールの中高一貫校、倉敷南はスーパーイングリッシュランゲージハイスクールのそれぞれ指定を受けました。青陵高校は授業の内容を充実させ進学指導を徹底する道を選んだ結果、進学校として期待を集め「自主と責任」「文武両道」をモットーとして、教職員と生徒がたゆみない精進と努力を積み重ねてきました。

そのおかげで数年前、「週刊ダイヤモンド」による合格力ランキングでは、岡山県内で1位、全国で22位、(国公立では10位)という、素晴らしい進学校になりました。また「読売ウイークリー」では、全国594公立高校の国公立大学に対する「現役合格力」が全国1位でした。卒業生の約8割が国公立に合格しています。

母校が全国1位になったことを大変嬉しく思います。同窓会のお世話にも一層力が入ります。

私のように終戦の年に生まれ卒業して50年近くなりますと、1, 2, 3年生が1つのグループになって楽しんだ青陵祭など、楽しかったことが次々思い出されます。今年創立105年を迎えました母校と同窓会の今後益々の発展のため、副会長として会長を支え、一生懸命努力しますので、よろしくお願いいたします。

校長
田中 尚^{ひさし}
(同窓会名誉会長)



同窓生の皆様におかれましては益々御健勝のことと拝察申し上げます。また、平素から母校への御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度の異動で中山弘輝校長の後任として着任しました田中尚と申します。よろしくお願いいたします。

青陵高校は本年度105年目を迎え、各界のリーダーとして活躍される35,500人を超える卒業生を輩出している岡山県を代表する進学校です。生徒も科学技術の開発や政治、経済などのさまざまな分野で、将来、中心的なリーダーシップを発揮し、日本を支える役割を担う人材であると認識しています。

私の役割は、この生徒のために教育環境をしっかりと整えていくことと考えています。現在、教育課程の改善、教員のさらなる指導力向上、超難関大学対策支援チームの設置、理数分野の外国人講師の活用、ICT活用などに取り組んでいます。各種電子機器を完備したICTに関しては、同窓会から記念事業の一環として、図書館の書籍や電子機器と共に御寄付をいただきました。授業の効率化、深化に活用させていただきたいと考えております。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。レベルの高い生徒たちを教育できる喜びを自覚しながら全力で頑張りたいと思っています。

同窓会の皆様におかれましても、母校青陵高校へのより一層の応援をよろしくお願いいたします。最後になりましたが、会員の皆様のますますの御健勝と御多幸をお祈りして御挨拶とさせていただきます。

□…田中校長は鴨方高校長から平成25年4月に着任。岡山市在住。

本部だより

同窓会本部総会

(平成25年8月4日、倉敷アイビースクエア)

名物・陵歌に愛校心再び

34期 小山 治子

連日の猛暑の中、今年も盛大に開かれました。恩師の米井郁人、永井裕、坪井克己、石尾延江の各先生をはじめ300人の参加をいただきました。

初めに加川英郎同窓会会長（4期）、田中尚名誉会長（校長）から挨拶をいただきました。青陵生の現状や課題、そして「日本を背負っていく人材を育てたい」との力強い言葉を聞き、同窓生として大変頼もしく感じるとともに今後の後輩の活躍に注目していきたいと感じました。

元陵歌の会会員らのリードで陵歌を次々歌い最高潮に達した本部総会



総会議事の後、市議会議員・藤原（現姓鳥井）薫子さん（44期）の乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。

宴もたけなわ。今回の目玉「陵歌・応援歌」が始まりました。井上善弘副会長（21期）の音頭のもと、12人の元陵歌生が壇上に集い、「5期生寄贈歌 桜花爛漫、嗚呼木枯」「11期生寄贈歌 追懐の歌」のDVDをバックに、力強い歌声を披露してくださいました。かつて、中庭の池を囲んで応援団の先輩方

私の青陵時代

魅了されたウィーン少年合唱団

13期 近藤 幸枝 (旧姓 渡辺)

私が青陵高校へ入学したのは昭和34年4月です。入学式直後の10日には皇太子さまと美智子さま（現天皇・皇后陛下）のご成婚パレードがあったからよく覚えています。

在学中の楽しかった思い出は体育祭ですね。揃いの浴衣に菅笠で踊った阿波踊り、仮装行列でカウボーイに扮して行進したこと。今アルバムを見ると、よくあんな衣装を考えたものだと、みんなで出し合った恵に感心しきりです。

体育館で聴いたウィーン少年合唱団の高い澄んだ歌声は本当に素晴らしかったですねえ。なぜ青陵へ来てくれたの

が渾身の力を振り絞ってエールを送っておられた姿が重なり、母校を愛する人たちの熱い思いが青陵高校の伝統を確固たるものに築き上げてきたのだとあらためて感じました。

最後に、参加者全員で校歌を斉唱し、会場がひとつになったところで、再会を期してお開きとなりました。

実は、私も34期生がこの同窓会総会に参加するのは今回が初めてでした。これまでの不義理を反省しつつ、なんとか参加者を集めたいとの思いで声をかけたところ、前夜に同期会を催すことになり、恩師2人を含め65人が集いました。その勢いで本部総会も20人参加という快挙でした。同窓会っていいものですね。

参加者ひとこと (いずれも市内在住)



❖ 河原清次さん (12期)

「5年前から毎年出席しています。在学中は剣道部でね。きょうも仲間が来てます。2、3年前まで現役の土曜稽古に来ましたよ。当時住んでいた大元(岡山市)の剣道スポーツ少年団を長年指導しました。仕事は自営。岡山大学津島キャンパスで書店を経営していました」

❖ 森定(旧姓 宮武)祐子さん (25期)

「この会には友達に誘われて10年以上前から毎年参加しています。本部同窓会の会計担当です。義父の跡を継いで石材店を切り盛りしています。高校時代はJRCで活動、3年生で部長をやりました。子ども3人は全員30代になりました」



久々の再会で盛り上がる本部総会の各テーブル

❖ 三宅(旧姓 細見)亜紀さん (33期)

「同窓会には5年前に一度参加して以来、これが2度目です。高校3年間、新体操に励みました。現在は保育士として忙しい毎日を送っています。10～20代の子どもが3人います」

か不思議です。今も誇らしく思い出されます。まあ、当時は市民会館なんてなかったですからね。

学区が広いので旧市内をはじめ中庄、水島、連島などの友達がたくさんできました。卒業後も交流が続いており、私の人生を豊かにしてくれています。

当時は木造校舎でした。試験、試験で明け暮れた苦い思い出もありますが、木のぬくもりとともに心まで温まった3年間でした。

早いもので卒業から半世紀。古希を迎えた平成25年8月の同期会には58人も集まりました。皆さんから元気をもらい、「もうひと頑張りしよう」と誓い合いました。

□…夫宏平さんも9期の青陵夫婦です。



校歌に登場する福山
(表紙の写真説明)

母校屋上から望む福山(302メートル)。北へ6キロの総社市(旧山手村)にある。すぐ南に安養寺。中世の山城・福山城をめぐって福山合戦があった。頂上に城跡と合戦忠霊碑が建つ。

<p>栗坂歯科医院 栗坂 俊朗 (3期) 岡山市北区庭瀬231-5 TEL(086)293-0648</p>	<p>石井自動車工業株式会社 取締役会長 石井 榮一 (3期) 岡山市南区十日市西町11-16 TEL(086)232-1413</p>	<p>茶道教室 表千家流 平松 宗美 (3期) (登美子) 倉敷市二日市48 TEL(086)422-6901</p>
<p>医科器械・介護用品全般 赤木医科器械株式会社 代表取締役 赤木 久泰 赤木 照子 (4期) 倉敷市五日市63番地-4</p>	<p>関西プラスチック工業株式会社 会長 藤南 恒夫 (4期) 倉敷市四十瀬331の2</p>	<p>備前味噌醤油(株) 安達(岡本)綾子 (4期) 〒700-0811 岡山市北区番町2-13-26 TEL(086)222-2645</p>
<p>水島化学工事株式会社 取締役会長 榊原 久美子 (4期) 倉敷市水島海岸通3-10 TEL(086)444-4629</p>	<p>山田皮膚科・泌尿器科 山田 茂 (4期) 倉敷市水島弥生町6-12 TEL(086)446-2620</p>	<p>広告・宣伝・企画 (株)協同プライニング 代表取締役 桐野 紘武 (13期) TEL 086-463-1535</p>
<p>サンヨー美工 代表者 藤原 仁 (13期) 岡山市南区福富西3-2-7 TEL 086-262-3200</p>	<p>感動をかたちにいつまでも 今岡写真館 今岡 道雄 (13期) 今岡 靖晶 (44期) 倉敷市鶴形1-7-1 TEL 086-422-0559</p>	<p>エクステリア・太陽光発電施工販売 香川産業(株) 香川 俊一 (13期) 大高街道沿い TEL 086-424-1811</p>
<p>有限会社ワークハウス 相談役 小橋 邦造 (14期) [岡山中鞋店] 〒701-0213 岡山市南区中鞋313-6 TEL086-298-1288 FAX 086-298-1388 http://www.workhouse.co.jp</p>	<p>とし平 (14期) 倉敷市阿知2丁目3-3 TEL(086)422-0778</p>	<p>(有)青木建築設計事務所 青木 捷一 (14期) 倉敷市西阿知町988-1 TEL(086)466-0600</p>
<p>若葉ソーイング経営 高杉 嘉治 (14期) 真備町上二万3247-11 TEL(0866)98-4783</p>	<p>(株)明星 代表取締役会長 岡 良夫 (14期) 本社 倉敷市東富井1025-1 TEL(086)426-0023</p>	<p>社会福祉法人 三穂の園 住倉学園グループ 理事長 岡 良夫 (14期) 総括施設長 〒713-8111 倉敷市玉島服部字弥高3788-1 TEL (086)525-2522 FAX (086)525-2411</p>
<p>宴会 お食事は 千成・さくら亭 岡田 裕司 (23期) 倉敷市阿知1-14-21 TEL 086-425-7737</p>	<p>創エネ・省エネ・節電に天然ガス！ 岡山ガス株式会社 常務取締役 祇園 讓 (23期) 〒703-8285 岡山市中区桜橋2-1-1 TEL 086-272-3111</p>	<p>くらしき 不洗観音寺 宮寺 密正 (23期) [あらかずかんのんじ] 検索</p>
<p>山本食糧 山本 喜一 (23期) 倉敷市西坂707-2 TEL(086)462-0742</p>	<p>トータルビューティーアドバイス ウェルネスコンサルティング サロン・ド・ジュナ 瀬戸嶋 美津子 (23期) 倉敷市中島1113-19 TEL 086-460-3654</p>	<p>株式会社 サンタカ 代表取締役 小銭 和明 (23期) 倉敷茶屋町店 倉敷市茶屋町233-2 TEL 086-428-1234 FAX 086-428-1299</p>
<p>お子さまに夢を、大人には安らぎをお届けしたい。 だか小町 嫁菓子・練上げ等 各種袋詰め 承ります 代表取締役 平野 隆弘 (24期) 本店：倉敷市吉岡 TEL&FAX (086)425-7702 リブ21店：総社市リブ21 TEL & FAX (0866)93-7345</p>	<p>(S) 株式会社佐藤製作所 代表取締役社長 佐藤 茂典 (24期) 〒701-0113 倉敷市栗坂467-9 TEL(086)463-2700(内) FAX(086)463-1126 E-mail: sato@sato-works.com http://www.sato-works.com</p>	<p>天神窯 岡本 篤 (13期) 岡本 和敏 (44期) 倉敷市羽島121 TEL(086)423-0356</p>
<p>o.c.c 横田 順子 (44期) (旧姓 小野) 岡山市南区浜野2-1-35 TEL(086)201-7033</p>	<p>(有)創電社 吉田 将人 (44期) 倉敷市連島町亀島新田478-7 TEL (086)446-1280</p>	<p>お弁当の注文 承ります 私たちは食を通して地域社会に貢献します。 藤徳物産(株) 総菜工場 総社市清音古地3-1 TEL (0866) 90-1700/FAX(0866) 90-1701</p>

会の合間、住所別(地域別)席替え

37期 西 雅 弘

平成25年度は来賓として倉敷から加川同窓会長、井上副会長、青陵高校から田中校長、船越先生、恩師として中山先生、若山先生、倉敷市東京事務所から早瀬所長をお迎えし、約90人の出席をいただきました。ご出席いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

また、当会の事務局運営にあたり、ご指導いただきました関藤会長、寺山さん、日岡さん、河崎さん及び、初期運営を支えてくださり、貴重なアドバイスをいただきました26期の皆様へ

へ、来賓のご挨拶の中にもありましたが、当日は、富士山と三保の松原が世界文化遺産に登録されるなど、おめでたいことが重なりました。

和太鼓が加わり気合の入った陵歌の桜花爛漫、古陵の朋、青陵節、応援歌を熱唱。最後に全員で校歌を斉唱しました。閉会后、写真撮影を行いました。

私自身も、当番幹事は初めての経験でしたが、多くの方々とお知り合いになることができ、貴重な体験をさせていただいた



90人が集い盛大に開かれた東京青陵会の総会

へ、引き継ぎをスムーズに行っていただきました35期の皆様方にあらためて感謝申し上げます。今回は合同幹事ということで、36期、37期が担当しました。また、40期の人に会計を担当していただきました。運営に携わった皆様方に御礼申し上げます。

会はオープニング前の話題提供として、早瀬所長から提供いただきました倉敷市PRビデオ上映に始まり、会長挨拶、会計報告、田中校長のご挨拶、乾杯を経て各来賓の素晴らしいスピーチに加え、今回も昨年に引き続き、若山先生の尺八演奏「木枯」、「天為」と芸術性が加わりました。

企画提案として会の間に、現在の住所別(地域別)の席替えを行いました。

こと、何物にも代え難いと思っております。

来年は6月21日(土)午後6時から明治記念館で行いますので、是非ご参集くださいますようお願い申し上げます。

当日承認されました新役員は以下の通りです。

会長 関藤佳範(25期) / 副会長 香山康晴(20期) 小川和夫(23期) 田淵光彦(26期) ○日岡秀和(30期) / 理事 大藪いづみ(19期) 神島万喜也(24期) 平塚洋一(28期) ○河崎孝夫(30期) ○佐藤卓也(35期) ○山田裕之(40期) / 顧問 大山卓良(7期) 小川琴恵(8期) 料治宏尚(8期) / 会計監査 清田耕一(21期) ○建部昌孝(35期) = ○印新任

司会、報道、取材 多彩なアナの仕事

41期 山下清貴



「へー、いいところですね」。出身地を尋ねられて「倉敷です」と答えると、行く先々でこんな反応が返ってきます。

アナウンサーとしてNHKに入り、全国各地で仕事をしてきました。初任地の和歌山など地域の放送局では、ニュースはもちろん、高校野球の実況、歌番組の司会などあらゆる放送を担当しました。東京や大阪に異動してからは、主に報道番組のキャスターやリポーター。国会担当として政権交代の現場を目の当たりにしたり、大きな災害の現場に派遣されて取材したりと、こちらは「カタイ」、仕事を中心でした。

この仕事をしていて一番楽しいのは、各地でいろんな人に会って話を聞けることです。その際、取材の合間に交わされ

るのが冒頭の会話。倉敷の知名度は抜群です。さらに、美観地区へと話題が続くと、「高校がすぐ近くなんですよ」と、つい誇らしげに話してしまいます。

今回この原稿の依頼を頂いたことは高校時代を振り返るいい機会になりました。強くはなかったバレー部や青陵祭でのバンド活動など、まさに「青春の陵、でしたが、あまり勉強には熱心でなかったので必ずしも良い青陵生ではなかったような気がします。

ただ、いつかメディアの世界で仕事をしたいという漠然とした夢を、進路という現実と重ね合わせていく上で、とても重要な時間でした。そんな時を今まさに過ごしている在校生の皆さんを羨ましく思います。大切にしてくださいね。

そして同窓生の皆さん、先日私は同窓会で20年ぶりに校歌を歌ったのですが、本当に楽しくなりました。ぜひ同窓会に足を運んでみてください。

どこかでお目にかかれるのを楽しみにしています!

□…山下さんはNHKアナウンス室副部長(首都圏・BS担当)。倉敷市出身、東京都在住。

<p>東京で活躍する同窓生</p> <p>東京青陵会では、毎年6月ごろに総会を開催しています。大学生から昭和一けた生まれの先輩まで100名以上が集まり、親睦を深めています。倉敷の思い出話、仕事の相談、就職アドバイスなど有意義な時間を過ごすことができます。ぜひ総会にご参加ください。</p> <p>ここに首都東京で活躍している同窓生を紹介します。</p> <p>東京青陵会 会長 関藤 佳範 (25期)</p>	<p>(財)日本手工芸指導協会 講師 アートステンシル協会 本部講師 筒描染ステンシル普及協会 主宰</p> <p>長岡 克枝 (2期) (旧姓:露無)</p> <p>〒272-0133 千葉県市川市行徳駅前2-3-1-312 TEL&FAX 047(358)2424</p>	<p>大山公認会計士事務所</p> <p>公認会計士 税理士 大山 卓良 (7期)</p> <p>〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目3番1号 第2小田ビル9階 電話 (03)3574-6944 FAX (03)3573-1841 E-mail: oyama-cpa@trust.ocn.ne.jp</p>
<p> 髯商業システム研究所</p> <p>代表取締役 所 長 料治 宏尚 (8期)</p> <p>〒140-0011 東京都品川区東大井5-6-13 CCビル TEL 03-5782-7111 FAX 03-5460-1826 E-mail: head-q@ccsystem.co.jp</p>	<p>小川 琴恵 (8期) (旧姓:加門)</p> <p>〒158-0081 東京都世田谷区深沢 5-1-4 電話 03-3701-4044</p>	<p>法人設立・譲渡・相続税の申告相談 梶谷孝行税理士事務所</p> <p>税理士 梶谷 孝行 (21期)</p> <p>〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-18 コートウイステリア301号 TEL 03-3364-2411 FAX 03-3364-2410</p>
<p> RISING golf club 代表取締役 井上 木太郎 (21期)</p> <p>ライジング・ゴルフ・マネジメント株式会社 ゴルフコース 茨城県常陸大宮市鷺子1178番地1 〒319-2603 TEL 0295-54-6161 FAX 0295-58-3158 本社 東京都千代田区平河町1丁目4番3号 〒102-0093 TEL 03-3234-2720 FAX 03-3239-2332 URL http://www.rising-golf.jp E-mail: br-moue@rising-golf.jp</p>	<p>チーム KAZU</p> <p>北田 和江 (22期) 大河 量人 (23期) 小川 和夫 (23期)</p>	<p> STEEL CENTER</p> <p>代表取締役 社 長 河田 宏造 (23期)</p> <p> 最新スチールセンター</p> <p>東京都千代田区内神田3丁目6番2号 TEL (03)5207-8484 アーバンネット神田ビル6F 〒101-0047 FAX (03)5294-2313 E-mail: k-kawada@steel-center.co.jp URL: http://www.steel-center.co.jp</p>
<p>長大橋、動的解析、補修/補強設計サポート 株式会社 ケー・アイ・ティー</p> <p>代表取締役 工学修士 小郷 政弘 (23期)</p> <p>東京本社 東京都練馬区光が丘3-9-2-209 〒179-0072 TEL 03-6904-3640 E-mail: kouzou3@theia.ocn.ne.jp</p>	<p> Melrose Ave.</p> <p>〒150-0044 渋谷区円山町25-7 PHONE/03-5458-5566 E-mail: melrose@aioros.ocn.ne.jp</p> <p>寺山 一己 (23期)</p>	<p>NHK解説主幹 日本科学技術ジャーナリスト会議副会長</p> <p>室山 哲也 (23期)</p> <p>〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHK解説委員室 ブログ: http://muroyamatsuya.cocolog-nifty.com/blog/</p>
<p>関藤 佳範 (25期)</p> <p>〒164-0012 東京都中野区本町4-7-12 リビン中野302 TEL / FAX 03-3229-3443 E-mail: xtrxb586@ybb.ne.jp</p>	<p>28期有志</p> <p>今川 一郎 平塚 洋一 深堀 順二 渡辺 慎二 稲村 美智代 笹川 陽子 茂 節子 矢野 伊津加</p> <p>倉生川 真人 光 浩二 須山 真一 清田 真弘 高橋 祥二</p>	<p>株式会社JVCケンウッド</p> <p>中村 弘 (29期)</p> <p>〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2 TEL 045-939-7038 FAX 045-939-7096 E-mail: nakamura.hiroshi@jvckenwood.com</p>
<p> EICHI Patent & Trademark Corp.</p> <p>副 所 長 小橋 立昌 (30期) 弁 理 士</p> <p>特許業務法人 英知国際特許事務所</p> <p>〒112-0011 東京都文京区千石4丁目45番13号 TEL 03-3946-0531 FAX 03-3946-4340 E-mail: kobashi@eichi-patent.jp</p>	<p>株式会社 タイパック</p> <p>取締役 河崎 孝夫 (30期)</p> <p> TYPACK</p> <p>〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34 風間ビル3F TEL 03-3295-0755 FAX 03-3295-0767 E-mail: tks@typack.co.jp</p>	<p> PTS 株式会社 プロ家庭教師さいたま Professional Tutors Saitama</p> <p>専務取締役 日岡 秀和 (30期)</p> <p>〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-40 TEL 048-654-0506 FAX 048-654-0569 E-mail: hioka@pt-saitama.com</p>
<p>35期有志</p> <p>八木 勝彦 建部 昌孝 佐藤 卓也 植田 晴子 妹尾 浩司 富井 陽子</p>	<p>平成25年度 東京青陵会幹事 (35期)</p> <p>梶谷拓生 (36期) 西 雅弘 (37期) 山田妃佐 (36期) 村山由紀 (37期) 谷口香子 (36期) 安河内実紀 (37期) 山田裕之 (40期) 桑原幸子 (37期)</p>	<p> 庭忠</p> <p>お庭のことなら何でもご相談下さい!</p> <p>なぎら 代表 奈喜良 忠浩 (38期)</p> <p>一級造園施工管理技士 一級造園技能士</p> <p>〒157-0068 東京都世田谷区宇奈根3-3-23 フラット・トリプレットC-101 TEL/FAX 03-6805-8576 携帯 090-9149-7077 携帯メール zizu08nag@t.vodafone.ne.jp</p>
<p>おまの黒川</p>	<p>上下水道指定工事店 有限会社 オオウチ</p> <p>代表取締役 大内 直樹 (24期)</p> <p>〒710-0806 倉敷市西阿知町西原978-3 TEL:086-466-3313 FAX:086-466-1806 E-mail: gon29@mild.ocn.ne.jp 携帯:090-2297-2243</p>	<p>ふじの小児科医院</p> <p>藤野 光喜 (24期)</p>
<p>やまだ内科クリニック</p> <p>山田 斉 (24期)</p>	<p> しげい病院 倉敷市幸町2-30 TEL: 086-422-3655</p> <p></p> <p>理事長・院長 重井 文博 (24期生)</p> <p>▲ 本年11月 新本館増築工事完成予定</p>	<p>株式会社システムタイズ</p> <p>岡山市北区下中野318番地の110 TEL 086-242-0011 FAX 086-242-0767</p>
<p>真言宗御室派 日間山 法輪寺</p> <p>住職 田中 良全 (33期)</p> <p>倉敷市羽島468 TEL 086-422-5705</p>	<p>陽気な出逢いと、おてんば娘のコレクション「赤毛のアン大好き!」</p> <p> M&M</p> <p>雑貨・洋服など取り揃えております。</p> <p>井川 真由美 (33期)</p> <p>倉敷市西阿知町西原836-5 TEL:086-465-9564 ブログ: http://ameblo.jp/anne-gil</p>	<p> Wakasa</p> <p>〒712-8011 倉敷市連島町連島4531-1 電話 086-465-1118(代表) 代表取締役 若狭 洋一 [34期]</p>

青陵受験ビデオ楽しむ

26期 白神 宏之

平成25年度は来賓として母校より新任の田中尚校長、加川英郎同窓会会長(4期)、武部洋治副会長(15期)、そして恩師の米井郁人元校長、河手浩先生(数学)にお越しいただきました。今年は昨年より少し盛り返して総勢76人の参加をいただきました。

今年の担当幹事は16期、26期、36期で、役員とともに何度か会合を持ち、ご招待する恩師や役割分担などを相談しながら準備を進めました。

会は清水亨君(26期)の軽妙な司会により始まり、開会の挨拶を近畿青陵会大水勇会長(14期)が行いました。総会の部では、平成24年度会計報告、監査報告をして、いずれも承認されました。

引き続き懇親会の部となり、田中校長よりご挨拶をいただき、先生の青陵高校新任時の思い出、現在の青陵の状況、明日の日本を担う人材を育てる観点から指導に力を注がれていることなどをお聞きしました。加川同窓会会長からは、「同窓会だより 青陵」配布の状況や同窓会への支援についてのお話を含むご挨拶をいただき、武部副会長の発声による乾杯で会はスタートしました。

歓談中には、恩師の河手先生から青陵の思い出と先生の近況、米井先生からは近況、青陵の歴史、特に同窓会館などの建物にまつわる興味深いエピソードをお話いただきました。

また、同窓会本部の船越勝先生(28期)から送っていた、青陵を受験する中学生向けの紹介ビデオ(生徒たちが作成したそうです)を上映し、テンポの速い説明と学校生活



昨年より参加者が増えた近畿青陵会の総会

の様子画像を楽しみました。同じくお送りいただいた創立100周年記念ビデオから青陵応援歌を上映し、多くの参加者が一緒に歌うことができました。

その後、各テーブルからスピーチをいただき、大いに盛り上がりました。

全員起立して恒例の校歌斉唱をした後、当番幹事代表の古米幸郎幹事(16期)が謝辞、赤沢陽治近畿青陵会副会長(18期)が閉会の挨拶をして、お開きとなりました。

遠いところをお運びいただきました恩師の先生方、来賓の方々には、幹事一同より深く感謝申し上げます。ご尽力いただきました当番幹事の皆さん、ご苦労さまでした。

来年度の近畿青陵会は17期、27期、37期の担当で、平成26年5月25日(日)と同じ太閤園で開く予定ですので、ご参加のほどよろしく願いいたします。また来年お会いしましょう!



9期 石部 修平

当時は青陵を希望しても学区外(鴨方)のため認められません。地元の高校へ入学した私は、なんとしても青陵に行きたくて親に無理を強いて転校を企てました。

倉敷市内に寄留することが大前提で、姉の友人を頼りました。5月の連休明け、ひとりだけの試験を受け晴れて青陵生となりました。越境入学、いわゆる「もぐり」です。

この言葉には少なからず抵抗というか、後ろめたさを感じましたが、そんなことに関心をもつ人はいませんでした。

青陵の授業はスタートダッシュが速く、1カ月余り遅れた私は完全に取り残され、1学期の中間試験は惨めな結果に終わりました。何とか自分のペースを掴むことができたのは夏休みを終えた2学期からだったでしょう。

部活はメンバーが少なく、途中からでも歓迎されたハンドボール部を選びました。この頃は室外の11人制だったこともあってハードな練習に追われ、毎日の通学がかなり負担でした。

青陵を熱望、「もぐり」転入学

当時、国鉄(現 JR)はSLが引っ張る8~10両編成の汽車。朝夕は1時間に2本、昼間は1本の割合でしかなく、乗り遅れることは許されません。

汽車は発車も停車もゆっくり。発車しかけた汽車に駆け足で飛び乗ったり、下車駅を発車した直後に飛び降りたり。危険なことも経験し、時には駅員さんに叱られました。

昼間の列車に乗るのは、中間・期末の試験の時。部活も休みで即下校できるものの、時間が合わず大原美術館によく立ち寄りました。ウイークデーの午後は客も少なく、好きなモノを見るのは試験勉強の癒やしになり、心地よい革のソファでいつの間にか眠っていたこともありました。

いつしか、「もぐり」のハンディは消え、時間を大切にすることが身に付いた3年間でした。

今日では金光からも鴨方からも何人もの生徒さんが在学されており、ハッピーですね。ちょっと羨ましい気持ちです。

私は転入学という、友人たちとは違う体験をしたおかげで、姉(倉女38期)兄(2期)と同じ青陵卒を名乗れることを誇りに思っています。

□…石部さんは元荒川化学工業(本店・大阪市)社長。現在、近畿おかやま会会長。浅口市(旧鴨方町)出身、大阪府池田市在住。

先輩の活躍ぶりに刺激

同窓会の皆様、こんにちは。今回青陵会だよりを執筆させていただきました。今年の春、晴れて九州大学に合格し、先日、山口を含む九州青陵会に初参加させていただきました。

大先輩方を囲んでのお食事会ということでとても緊張していました。自分などが行くとき場違いではないだろうか、という不安を胸に会場の扉を開けました。授業の関係で少し遅れて参加したので会はずでに始まっていましたが、その場の雰囲気がとても和やか。先輩方が温かい笑顔で迎えてくださり、この会に参加することができ本当によかったですと感じました。

今回の青陵会で一番感じたのは、参加している方々の倉敷、青陵高校への思いの強さと、お一人お一人の人格の素敵さ、内面の深さです。お食事をいただきながら、自己紹介と近況報告を一人ずつ発表しました。その内容は皆さん生き生きとしたもので、いつまでも生きがいや目標を持ってさまざまな

分野で活躍されている様子がありありと目に浮かびました。

また、私たち学生に向けて、「好きなことはとことん頑張りなさい」とのエールを送っていただきました。せっかくの大学生活なのでやりたいことを一生懸命に取り組みたいと思います。そして卒業した後も今回お会いした先輩方のお姿を道しるべに、自分もまたいろいろな経験を重ね成長していきたいと思いました。

地元から遠く離れたこの九州の地にも、同じ学び舎を持つ素晴らしい先輩方がいるのだと実感したことで九州の地、そして母校・青陵高校をより一層好きになることができました。次回も機会があればぜひ参加したいと思います。

参加者の皆様、そしてこのような拙い文章を読んでくださった皆様、本当にありがとうございました。

□…阪上さんは九州大学文学部1年生。最も若い同窓会員です。



九州青陵会に参加した方々 (中列左から3人目が筆者)

<p>大牟田記念病院 理事長 溝手 博義 (8期) (九州青陵会会長)</p>	<p>広告・宣伝・企画 (株)協同プライニング 福岡営業所 代表取締役 桐野 紘武 (13期)</p>	<p>福岡女学院大学 教授 難波 征男 (15期)</p>
<p>平松 徹夫 (18期)</p>	<p>(有)ひびき調剤薬局 名倉 万寿夫 (19期)</p>	<p>九州青陵会 事務局長 加藤 榮一 (20期)</p>
<p>九州青陵会 副会長 平野 善次郎 (20期)</p>	<p>アグチ興産 代表 田中 進 (20期)</p>	<p>村岡屋ギャラリー ギャラリーコーディネーター 喜多村 真美 (26期) 旧姓:貝原</p>

正月に27人参加、併殺プレーも

温かい無風の快晴。年末の大寒波がウソのような平成25年1月2日、1年ぶりに元青陵球児が懐かしい母校グラウンドに集合しました。草創期の3期生から最近卒業した若手まで27人。正月2日恒例のOB戦です。

ユニホームや道具は持ち寄り。軽くキャッチボールや打撃練習をした後、卒業年次の偶数、奇数で編成した2チームに分かれ、午前10時にプレーボールがかかりました。

最初から和気あいあい。「今のがボールか?」と、投手がクレームをつければ、「次はストライクにしますから…」と言う審判に、どっと笑い声。「バットがボールに当たらん」と言いながら、2打席目はヒット性の当たりを放つ人も。体が温まるにしたがって、ダブルプレーや外野からの好返球など、元球児の片鱗を見せていました。

序盤から点の取り合いとなりましたが、土壇場の7回裏、逆転で8対7、奇数期チームのサヨナラ勝ちとなりました。

OB戦は旧交と親睦を図るため、昭和57年に始めて今回が32回目。対戦成績はほぼ互角です。

試合前には現役部員がグラウンド整備をして先輩を迎えました。終了後には、関係者の奉仕により熱いうどんが振るまわれました。

午後からは若手OBが昨年に続き、倉敷商業の若手OBを招いて親善試合をしました。

夕方から倉敷市内でOB会の総会・懇親会を開き、先輩・後輩の交流を深め、今年の活躍を誓い合いました。

野球部は昭和23年創部。夏の大会は昭和26年ベスト4、同51年、52年などにベスト8。OB会(中田裕之会長・28期)の会員は約450人。現役部員はマネージャーを含め39人。2年前、OB会の寄付により、後輩のためにバックネット付近に夜間練習用の照明器具4基(100万円)を設置しました。

部活OB会だより

参加者ひとこと



◆小林一彦さん(3期・OB会顧問)

「現役時代は捕手。この真っ赤なユニホームは還暦の祝いで岡山県高校OB野球連盟の仲間と一緒に作ったんですよ。OB戦はねえ、去年は3打数1安打1打点。今年は体調の関係で代打でした」(倉敷市在住)

◆田中久善さん(29期)

「久しぶりに参加しました。現役時代は外野手でしたが、きょうはサードをしています。現役時代は(県大会)夏ベスト8まで行ったのが思い出。今も職場(医療関係)で軟式野球を楽しんでいます」(広島市在住)

◆桜井美^{まこと}さん(35期)

「母校のグラウンドに入ったのは30年ぶりですよ。現役時代、外野手として夏ベスト8まで行きました。きょうも外野手です。今は建設関係の仕事をしています」(岡山市在住)

□…OB会の連絡先は中田会長(086-455-2457)。



平成25年のOB戦に参加した野球部OB会のメンバー＝青陵高校グラウンド

母校を訪ねて～倉女35期の2人～

毎年同窓会を開き、平成25年にめでたく米寿を迎えられた倉女35期の方に、母校に集まっていただきました。といっても、数人の予定が2人だけになってしまいましたが、校内を見学、高女時代を中心に思い出話は尽きませんでした。

早春の冷たい雨の降る3月27日、出席いただいたのは野上英子さん＝倉敷市在住＝と、王前昭子さん＝旧姓高橋、美作市在住＝です。野上さんは粋なサングラスに白いブーツ、王前さんは和服姿でした。

立派な校舎に驚く王前さん(中央)と野上さん



まず、同窓会担当教諭の案内で校内見学をしました。王前さんは卒業後初めて、野上さんはずっと以前に一度、来校されたそうです。野上さんは、

「校内はこんなに広がったかな。旭町から現在地に移転してきて、ここで5年過ごして卒業した最初の卒業生なんですよ。(南西隅の)この庭園は高女時代からあった? いやあ覚えてない。そうですか」と驚きの声を上げていました。王前さんは4階建ての校舎を見上げて、「立派ねえ。当時は2階建てでした。給食があってね。珍しいでしょう。おかげで好き嫌いがなくなった人もいましたね。今は食堂、あっ、学食っていいんですか。いいですねえ」と貴重な話をしてくれました。

数年前に完成した、まだ新しい図書館。蔵書数4万7000冊。天井を広くとったアーチ型の大胆な室内に入るなり2人は、「ええっ、広い!」とびっくり。野上さんは、「家にあった世界文学全集はよく読みましたが、高女時代はどれくらい図書館にきたかなあ」と苦笑いしていました。

強い送球部が全国優勝

観音様へ毎日ランニング

ちなみに、野上さんは菅生からバス通学、王前さんは東塚から1時間かけて自転車通学をしていました。野上さんは母(倉女8期)、妹(同36期)、長男(青陵32期)、自分を含め4人が同窓です。校内を一巡した後、創立80周年記念会館で昼食をとりながら話を続けました。

主要科目以外の教科について王前さんは、「修身、和洋裁、それに作法。作法は畳の部屋でね、礼や接待の仕方、お茶も習いました。体育ではナギナタ。今はこういう科目や実習はないでしょう。英語は(対米の)戦時中なので、あまり力を入れませんでした」と言う。

クラブ活動も活発で、ほとんどの人が加入していました。野上さんは陸上部。三段跳びが得意でしたが、「女子にはきつい」ということで種目から外されました。文部省(現文科省)の通達か、学校当局の指導かは分からないそうです。「仕方なく走り幅跳びに転向しましたが、うまくいなくて記録は伸びませんでした。跳び方が違うんですね」と残念がっていました。長距離(5000メートル)の得意な王前さんは、ハンドボール部で活躍。そのころは「送球部」といっていました。「倉敷高女は強くてね。全国優勝したことがあります。ライバルは大阪の梅花高女でした」という王前さんは音楽部でオルガンも弾いていました。まさに文武不岐、の人です。5000メートルがよく三段跳びがきついからダメというのが不思議でした。

高女時代は戦争の真っ最中。その思い出を2人は、「廃川地(旧高梁川)にサツマイモ掘り、向山へダイコン掘りに行きました。給食の食材にね」と笑いながら振り返っていました。最後にびっくりするようなお話。「(校歌に出てくる)福山にもよく登りましたが、毎日、中帯江の観音様(不洗観音寺)までランニングして帰ってから朝礼をしていました。戦時中なので鍛えられた! だから長生き。みんな元気なのよ。往復すれば6キロ以上。ランニングが苦手な人は朝礼に間に合わない?」

現在、野上さんはスイミングスクールに通い水中歩行と背泳ぎに精を出し、王前さんは外国旅行に出かけています。ネパール旅行で知り合った弁護士さん(男性?)と文通しているといいます。これまたオシャレですねえ。

2人ともご主人に先立たれましたが、どこまでもお元気でした。ご苦労さまでした。ますますのご健勝をお祈りします。

□…倉女35期は3クラス・150人。昭和19年3月卒業後は2人が師範学校へ進学、後の人は社会人になりました。倉女の校歌が歌える貴重な方々です。



最近の作品の写真を眺める岡部さん
=自宅兼アトリエ

海に魅せられ…県内草分け

17期 岡部 玄 さん(旧名知敏)

「流木はね、海にたまった神や自然の贈り物ですよ。人工的でない特性をうまく活用して、見てくれる人に驚きと感動を与えられればいいんです」

天井の高い自宅兼アトリエ。壁面いっぱいには図書館もびっくりの、おびただしい数の書籍がびっしり所蔵され、作品も数点置かれています。愛知県立芸術大学時代、油絵からスタートして46年。アトリエにその蓄積が表れています。

「私は26年前から取り組んでますが、流木アートって言葉が世に出たのはほんの十数年前。全国的にはよく分かりませんが、岡山県内では早いほうだろうし、本格的にやってる人っていないんじゃないですかねえ。きっかけは体調がよくないころかな、海のすごさに魅力を感じてね、よし、これだ! とね。おかげで元気になりましたよ」と、喜んでいました。

材料は四国の太平洋岸や山形から島根の日本海側で採集。ドリルや木槌、ペンチ、ナイフなどで竹ひごご番線(針金)を使って組み上げます。クギは使いません。「作品は、まあ年に数点ですかねえ」と言います。

最近の作品としては、母校青陵の創立100周年記念モニュメント、これまでの最大作品である岡山城の巨大アート(長さ120メートルの籠)、当時勤めていた中京女子大学(現学芸館大学)の五輪メダリスト吉田沙保里、伊調姉妹の活躍を受けて体育館に「チャンピオンコーナー」のアートを手がけました。

作品が買い上げになった宮崎市主催の日向現代彫刻展大賞(平成9年)など受賞歴も重ねています。平成25年には岡山県美術展覧会の彫刻の審査員も務め、活躍の場を広げています。

白い頭髪と口髭が、まさに芸術家然とした岡部さんは、最後まではっきりした口調で元気に取材に応じてくれました。

(総社市在住)

□…岡部さんは在学中サッカー部で、1年生からレギュラーでした。

会社員や先生 異色の経歴

24期 村田 収 さん

作品は明るくメルヘンチックで、絵心のあまりない人にも親しみやすく、見ると気持ちが和みます。この道30年の村田さんは珍しい技法を採用。写実的な森や海など風景画に、水墨画の手法「にじみ」を入れて独特なタッチに仕上げています。

倉敷育ちですが長年、関東方面で活躍しました。平成23年3月の東日本大震災による福島第1原発事故を受け、住み慣れた栃木県那須町から帰郷を決意。翌月に倉敷で予定していた展覧会を契機に、震災発生の4日後に素早く岡山市へ移住しました。

村田さんは「福島県境に近い那須町は福島第1原発から88キロしか離れていません。風向きによっては放射性物質の影響があります。絵のテーマが豊富な東北に近く、冬は雪も降り皇室の那須御用邸もすぐそば。抜群の環境だったんですがねえ」と残念がっています。

異色の経歴をもつ水彩画家です。大阪府立大学経済学部を卒業。東京の大手通信機器メーカーに勤務、倉敷の小学校教諭を経験。好きな絵や漫画をあきらめきれず30歳で一念発起。ニューヨークで2年間、修業を積みました。帰国後はイラストレーターとして本の表紙や挿絵、パンフレットや企業カレンダーを手掛けました。水彩画に転向してからは那須や東京、倉敷で何度も個展を開きました。

「原発事故で創作意欲が減退したんですが、故郷で心機一転再出発しました」と、元気に活動を再開。平成25年11月には1日から5日間、岡山市の岡山国際ホテルで個展を開き、近作20点を展示、絵画ファンに好評でした。

書の母、詩と人形づくりの妻との3人展も2度開くなど芸術一家です。

□…村田さんは青陵時代、ESSに所属していました。

活動再開後に開いた個展会場の村田さん



腕を磨いて道極め

男性芸術家トリオ

博物館学芸員から一念発起

28期 赤松 伸咲 さん

工房は倉敷市の酒津公園の近くにあります。今ではすっかり少なくなった刀鍛冶の一人、赤松さんの工房です。わが校の船越先生(美術担当)の青陵同期の方です。刀鍛冶の人は頑固一徹というイメージがありました。第一印象は柔和なおじさんで、ほっとしました。

早速、工房に案内されました。室内には刀の材料である玉鋼や数多くの専用道具がずらりと並んでいました。

赤松さんは大学を卒業した後、倉敷市教育委員会に勤め、市の文化財を調査・保管する仕事をしました。さらに長船町(現瀬戸内市)立備前長船刀剣博物館の学芸員をしました。ここで疑問を抱きました。「刀のことをもっと専門的に知らなくていいのかわか?」一。その思いはだんだん強く大きくなりました。

ちょうどそのころ、朗報が入りました。人間国宝の隅谷正峯師(石川県)に入門する機会に恵まれ、希望に燃えて門をたたきました。学生時代、刀づくりの道に進むなんて全く思っていませんでしたが、迷わず飛び込みました。

師のもとで厳しい修業を4年積みました。帰郷して念願の刀鍛冶工房を開きました。独立して今年で23年になります。その間、腕を磨いて全日本刀匠会理事長賞、全国刀剣商連合会理事長賞、お守り刀展テレビせとうち賞(4回)など数多くの賞を獲得しています。

現在は全日本刀匠会中国・四国地方支部副支部長、財団法人日本美術刀剣保存協会岡山県支部副支部長を務めています。

赤松さんは「月に1振りできるかできないかぐらい。地道な作業です。値段は150万円してましたが、今は下がりましたね。販売は買いに来られた人との直取引です」と、業界の話を知りやすくしてくれました。

これからも、より高みを目指して行ってほしいと思います。

□…赤松さんの1男2女は、いずれも青陵のOB、OG、在校生です。

□…本稿は編集委員に同行取材した現役新聞部員の原稿に加筆したものです。



刀を研ぐ作業をする赤松さん。自然と力がこもる。自宅の工房

伸びる若芽

生徒の活動

青陵祭

昨年、半世紀を刻んだ伝統の青陵祭。新たな第一歩、第51回青陵祭が平成25年9月4日～6日、にぎやかに開かれました。年間を通じた最大のイベントであり、友との絆を深める絶好の機会となっています。

文化祭の部はステージ発表、野外ライブ、クラス展示、模擬店など多彩な催しで盛り上がりました。生徒たちは限られた準備期間の中で素晴らしい成果を見せました。

体育祭の部は雨の心配がありました。が、予定通り開催。昨年導入したカラフルなブロックTシャツがグラウンドいっぱいに躍動する姿を見せてくれました。3年のクラス数に合わせて7ブロックに編成。競技・ブロック演技・アーチ、行進・応援の部で競い合いました。3年生がリーダー



書道部の見事なパフォーマンス

友との絆深める好機

文化祭・体育祭

シップを發揮し、全員が一致団結して取り組む姿は昔も今も変わらない良き伝統「青陵魂」の一つです。



懸命に競り合うリレーの走者



表彰を受ける選手



部活動

文武不岐！

青陵は県内屈指の普通科進学校にあって、多くの部が全国大会、中国大会に県代表として出場するなど頑張っています。平成25年度（10月10日現在）の主な成績は次の通りです。

【全国大会出場】	
●バスケットボール部	男子 国体選抜へ1人参加（国体）
●水泳部	男子 1人（インターハイ・国体）
●棋道部	男子団体／個人女子 1人（将棋）
●コーラス部	全国総合文化祭
●美術部	全国総合文化祭 美術・工芸部門
●放送部	全国総合文化祭 放送部門
【中国大会出場】	
●バスケットボール部（男子）	*中国春季大会
●水泳部	*中国高校
●卓球部（女子団体）	*中国高校
●陸上競技部	*中国高校

青陵の目指すもの

高校生活を謳歌！

生徒一人ひとりが青陵での高校生活を謳歌する。その中でたくましく、しなやかでバランスのとれた成長を遂げる—ことを重点目標に掲げて教員も鋭意努力しています。



進路指導

平成24年度大学合格状況

進路指導課では、生徒たちが将来「国際社会でリーダーとして活躍できる人材」となることを目指しています。そのために、目標とする大学進学を果たす学力を身に付けるだけでなく、より良い社会人として生きていく力の育成に力を入れています。学習面では、きめ細やかで丁寧な学習指導と3年間を見通した継続的な学習計画を通して、基礎学力の充実と質の高い学力の育成を、また、総合的学習の時間や※土曜FW講座などを通して教養の幅を広げるとともに、自ら課題を見つけ探求し表現できる力の育成に努めています。

具体的な本校独自の取り組みとして、新入生がスムーズに青陵生として充実した高校生活を送れるように学習面、生活面でサポートする4月最初の「ビギニングセミナー」、企業、研究所、大学などを訪問し、体験することを通して将来就きたい職業や学びたい学部学科について研究する「FutureWatching」、毎週土曜日には、「土曜FW講座」を行っています。この「土曜FW講座」では、教科の基本講座から発展レベルまで学べる補習的な講座、理科の実験、医学部に在籍中の同窓生による講演会、大学の先生を招いての教育学部、工学部の説明会など幅広い内容を取り扱っています。また、年間5回の担任による生徒面接を通し、一人ひとりの生徒に寄り添ったきめ細やかな進路指導を行っています。さらに、3年生を中心とした早朝や放課後の補習授業やミニ学習会、添削指導などにも取り組んでいます。一方、多くの生徒たちは、教室、進路学習室などで、朝は7時半から夜は7時まで自学自習に取り組んでいます。このような地道な取り組みの結果が近年の進路実績につながっているものと思っています。

難関10大学 前年度超え

今春の進学状況は別表の「平成24年度 主要大学合格状況」の通りです。国公立大学合格者数は218人。岡山大学合格者数は56人で、今回は岡大全国トップの合格者数を出すことはできませんでしたが、逆に広島大学には前年度を大きく上回る合格者が出ました。東京大学の合格者がいないという残念な結果になりましたが、一方では、難関10大学の合格者数は前年度を超え、岡大医学部医学科に現役2人合格という成果を挙げました。本校の進路指導課では、東大・京大をはじめとする超難関校への合格者を出すことも一つの大きな使命だと考えています。そこで本年度は3年生の教員を中心に「東大・京大特別支援チーム」をつくり指導に当たっています。

最後まで粘り強く努力を続ける生徒たちの姿勢は周囲に感動とやる気を起こさせてくれます。生徒たちは仲間と共に学び、切磋琢磨し合える友人の存在が心の支えとなると言います。この校風・伝統が上級生から下級生に伝えられていることが本校の強みであると実感しています。教育を取り巻く環境は日々変化しています。青陵高校の学区でも私立小中学校への流出、県立中高一貫校の存在など、生徒募集に関する厳しい状況が目の前にあります。本校の歴史と伝統を礎に新しい時代の進路指導を模索しつつ、社会のリーダーとして活躍できる人材を輩出していく努力を続けていくことが私共の使命であると思っています。同窓生の皆様には、今後とも後輩たちへの温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

※FW講座とは「Forward（一歩前進めざし）・Free（自由意志で）・Favorite（好きな講座に出る）Weekend（週末）」の意味で、青陵生の期待に応える講座をほぼ毎週実施している。

本年度新設 東大・京大特別支援チーム

平成24年度主要大学合格状況

難関国立大学	人数
北海道大	2
東北大	2
名古屋大	2
京都大	1
大阪大	12
神戸大	9
九州大	13
合計	41

国公立医歯薬系

医学部	4
歯学部	1
薬学部	4
合計	9

国公立大学

上記難関大	41
筑波大	1
お茶の水女子大	1
横浜国立大	2
京都工芸繊維大	1
奈良女子大	1
鳥取大	9
島根大	3
岡山大	56
広島大	22
山口大	5
徳島大	7
香川大	19
愛媛大	8
高知大	3
京都府立大	1
大阪府立大	2
岡山県立大	4
神戸市外大	2
九州歯科大	1
その他の大学	29
合計	218

主な私立大学

自治医科大	1
産業医科大	1
東京理科大	2
明治大	6
中央大	3
早稲田大	6
慶応義塾大	5
同志社大	37
立命館大	44
関西大	24
関西学院大	11
清心女子大	49
川崎医療福祉大	19
合計	208

吉田雅治 さん(米シカゴ総領事)

母校で講演

— 平成25年9月11日 —

仕事②対米国、アジアの日本外交ーを中心に話し、最後に「外国で仕事をするには多様性と柔軟性が大切。生徒の皆さんには広い視点を持つことを望みます」との熱いメッセージをいただきました。

2校時目を使った、わずか40分ばかりの講演でしたが、めったに聴けない現役外交官の話に、生徒は熱心に耳を傾けました。将来の進路選択に貴重な示唆を与えられたことでしょう。

吉田さんは東京大学教養学部を卒業後、外務省に入省。中国大使、中国・広州総領事、衆議院国際部長などを経て現在の職にありま。在留国民の保護や米国との関係強化、国益保護のための政策を広報する重要な仕事をしています。

日本や世界の平和維持のため、益々のご活躍をお祈りします。

「柔軟性、広い視点を持つ」



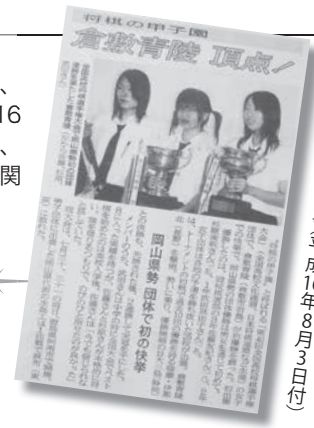
母校で講演をする吉田雅治 米国シカゴ総領事

米シカゴ総領事・吉田雅治さん（25期）を招いた講演会「ようこそ先輩in青陵」が、文化祭を終えたばかりの平成25年9月11日、本校体育館で開かれました。

進路指導課が掲げる「国際社会でのリーダー育成」という目標に沿って、①グローバル社会を生きる視点②日本の外交を見る視点ーを目的に全校生徒、教職員、さらに保護者らが聴講しました。

吉田さんは①職業としての公務員、外務省の

不世出の将棋棋士・大山康晴十五世名人を生んだ倉敷。地元のわが青陵高校棋道部（囲碁、将棋）は創部以来、岡山県高校将棋界いや、全国でもトップレベルを維持しています。平成16年には女子団体が全国制覇を成し遂げ、校庭には記念碑が立っています。平成25年8月20日、青陵高校創立80周年記念会館で、9年前の偉業を振り返り棋道部のさらなる活躍を目指して関係者に熱く語ってもらいました。（聞き手は編集委員）



全国制覇の快挙を伝える
山陽新聞の記事(平成16年8月3日付)

急造チームで無欲の全国制覇

～V記念棋道部座談会～

「気楽にやってこい」と顧問

一皆さん、ご苦労さまです。棋道部の誇る「将棋の甲子園、第40回全国高校将棋選手権大会」の女子団体優勝は、男女を通じて岡山県勢初の快挙でした。まず思い出話から。

武田 私は1年生でね、先輩の佐藤（現姓竹澤）さん（3年）、杉原茉莉さん（2年）とチームを組みました。みんな調子よくて、トーナメントの初戦で伊那北（長野）を破って波に乗りました。伊那北って過去10回も優勝している強豪って知らなかったんですよ。それがよかったのかな。

竹澤 決勝は優勝候補の日大三島（静岡）でした。先勝された後、2連勝して逆転勝ちしました。強運でした。

一将棋の経験はどれぐらいなんですか。

竹澤 私は2年生から美術部でした。将棋を本格的にしたわけではなくて棋道部の兄の相手をたまにしていた程度。それを棋道部の顧問の先生が聞きつけて「棋道部に来てくれ」と言われてね。急造チームで大会に出たんですよ。助っ人？ いや員数合わせです（笑い）。

武田 小学生のころにおばあちゃんに教えてもらいました。おじいちゃんやお父さんともよく指しました。中学は卓球部でしたが、将棋の全国大会でベスト8に入ったことがあります。

竹澤 そう、主力は武田さんでした。杉原さんは負けず嫌い（笑い）。でも学年に合わせて三将武田、副将杉原、大将竹澤という布陣。大将は相手校の一番強い人と当たるのにな。

北村 武田さんは（倉敷市大山名人）記念館の将棋教室や市内小中学校将棋大会の常連だった。口やかましいお父さんにしかられながら熱心にやっていたよね（笑い）。各組の優勝者とか、上位にいつも食い込んでいた。小5のころが一番強かったかな？ でも全国制覇にはびっくりしたね。

一顧問の先生のアドバイスは何かあったんですか。

竹澤 「気楽にやってこい。勝ったら昼御飯おごってやる」って調子でね。だから緊張しませんでした。あっ、昼御飯おごってもらったかなあ？

武田 おごってもらいましたよ（笑い）。次の年の2年生の時は準優勝でした。

竹澤、武田 優勝は高校時代のいい思い出です。今は仕事が忙しくて、もう将棋を指す機会がありませんが…。

男女とも全国レベル維持

一現役の皆さん、入部の折、全国制覇した先輩がいたことを知ってましたか。

一同 いや知りませんでした。校庭の記念碑を見て初めて知りました。

一将棋を始めたきっかけ、入部の動機は何ですか。

水口 両親の勧めで小2からです。中学は卓球部でした。将棋部ってないですから。

平成25年8月20日

出席者

【将棋関係者】	
北村 実	3期 倉敷市大山名人記念館長
【H16年全国優勝メンバー】	
竹澤 友紀	56期 紙上参加（旧姓佐藤、愛知県在住）
武田真由子	58期 小学校教諭
【棋道部員】	
水口 優	2年 主将 / 白神ゆりあ 2年
角田 裕哉	1年
（敬称略）	

角田 僕も小2です。誕生日に父が将棋盤を買ってくれたのがきっかけでした。高学年のころからかなり夢中になりましたね。中学はバレーボール部でしたが…。入部の動機は将棋が好きだから。

白神 私は小学校中学年ごろ、まず囲碁を習いました。将棋は高校に入ってからです。棋道部は大半の人が将棋ですが、私は両方やっています。

北村 囲碁と将棋の才能は別。両方は無理。ただし、一本に絞れば意外に強くなるケースがある。面白いよ。

一最近の成績、将来は将棋とどう関わりますか。

水口 平成25年5月の第49回全国高校将棋選手権大会岡山県予選に男子団体優勝し、全国大会はベスト16。決勝トーナメントには行けませんでした。6月の第33回岡山県高校夏季将棋大会も5年ぶりに優勝しました。部員は男女25人。下校時刻が決められているので効率よく活動しなければ、と思います。

白神 平成25年、女子個人で全国大会に出場しましたが予選2勝2敗で、決勝トーナメントには進めませんでした。女子団体は先輩方が優勝、準優勝の後ぐらいから3人そろわずチームが組めない状態です。さっきの先輩の話のように、女子はなかなか3人そろわないんですよ。将棋も囲碁も高校卒業後も趣味でずっとやっていきたいです。

角田 先輩方は全国高校将棋選手権大会岡山県予選で過去に5連覇しています。僕たちも来年、水口さんと僕、もう一人の1年生とで県予選で2連覇して全国大会を目指します。将棋は将来も続けます。

2つ目の記念碑を

一最後に、あの大山康晴さんが頼りにした岡山県将棋界の世話役、北村さん（アマ6段）に後輩への激励をお願いします。

北村 武田さんと現役の3人はいずれも記念館の将棋教室や市内小中学校将棋大会を通じて知っていた。青陵をはじめ県内の高校将棋で活躍する子どもたちはほとんど倉敷で鍛錬したメンバーだな。青陵棋道部の益々の活躍を祈りたい。その結果として2つ目の記念碑が立てられればいいな。

一皆さん、暑い中、ありがとうございました。

□…棋道部は平成16年の全国優勝、翌年の同準優勝の好成績により2年連続、倉敷市将棋文化奨励章を受章しました。



全国優勝の思い出と今後の抱負で盛り上がった将棋座談会

青陵高校創立80周年記念会館

こぼれ話

『砂漠会新聞』って何？

倉敷新聞連載(平成3年) 「倉中から青陵へ」

「砂漠会新聞」発行！聞き慣れない新聞(4ページ)が平成6年8月15日付で突如出現しました。発行人は杉原裕さん、編集人は河上文久さんの2期生コンビです。

掘っ立て小屋のような校舎と砂漠のようなグラウンドの富井校舎で学校生活を送り、同期会の名前「砂漠会」から題字を取りました。写真を大きく載せ、レイアウトも新聞並みに整然とした読みやすい紙面です。

河上さんが平成3年に倉敷新聞(その後廃刊)に連載した「県立倉敷中学校の誕生から青陵高校への学生生活」



「2期生の2人が発行した『砂漠会新聞』のコピー」

(全4回)の記事を基に再構成したものです。終戦前後、旧制倉中から倉敷高等学校(富井校舎)、倉敷高女から倉敷精思高等学校(美和校舎)になった2校が合併、青陵高校が誕生するまでの経緯と学校生活の様子が詳しく載っています。記事によると一。

合併には曲折がありました。まず校舎の位置。市内の中ほどに位置する富井校舎の方が、北東のはずれにある美和校舎よりベストだが、校舎がお粗末すぎる。「論説」

まるで砂漠の中の富井校舎

2期生コンビが独自に紙面化



倉敷中学校富井校舎の全景=昭和24年ごろ

コーナーで論陣を張り問題提起しています。

校名をどうするか。「精思」を譲らない旧高女側に対し「養子ではないぞ!」と旧倉中側。あらためて青陽、青陵、昭英、有隣、緑知の5候補が提示され青陵に決定しました。

草創期の記事を満載 ～コピー保存～

授業中にサボって教室から砂漠に次々逃亡/倉敷市営球場の球場開きでプロ野球が来た折、休校措置を勝ち取る/卒業式で「蛍の光」を炭坑節にアレンジして大合唱一と、今では新聞ネタ間違いなしの楽しい学園でした。

「旧制第六高等学校(岡山市)の蛍カラの名残が残っている」とあり、青陵名物「陵歌」誕生のルーツがしのべれます。

2期生の進学も岡山大80、東京大4、京都大13、大阪大16、早大9、慶大2、同志社大3一など、現在の進学状況とほとんど変わりません。受験雑誌に「一流高校」と紹介されたのも今と同じです。

青陵草創期の状況がよく分かる興味深い記事を満載しています。「砂漠会新聞」はコピーを保存しています。

□…杉原裕さんは亡くなられました。

米寿超えを目指す 東京砂漠会二期会

2期 大橋 貞彦

寄稿



2期卒業の男子は昨年の会報44号の表紙の写真に残念ながら懐かしさを感じません。現在の美和校舎で学んだことが無い外様、のような立場が身に付いているからです。

昭和20年4月、倉敷商業の跡地に開校した倉敷中学校の2期生として入学したものの、敗戦による倉敷の復活により西富井の海軍兵舎の跡地に移ることになりました。

机と椅子を担いでとぼとぼ引っ越しをした富井校舎は晴天の日は窓からの砂埃に悩まされ、雨が降ればあちこち雨漏りがして傘を差して授業を受けるような掘っ立て小屋でした。もちろん運動設備もほとんどなく、運動場は生徒の勤労奉仕。そのためのローラー曳きは重労働でした。こんな校舎で26年に卒業しました。

それから三十年余の月日が流れ年号が平成に改まった頃、電電公社(現NTT)荒川電話局長だった池上平二君が在京2期生を京橋の公社クラブに集め、東京砂漠会二期会がスタートしました。

会場はその後、15期の松田誠介君経営の料理店「倉敷」を数回使いましたが、最近は神戸大学東京六甲クラブ(日比谷)が東京駅に近くて便利なので常設会場としています。

出席者も在京メンバーに加え倉敷、岡山、名古屋からも毎回参加があり30人近い盛会になったこともありましたが。しかしメンバーはみんな80歳を超えました。毎年2、3人が欠け、平成25年の例会はとうとう出席者が12人と寂しくなりました。しかし、会は会員が米寿を超えるまで頑張って続けたいと考えています。

□…大橋さんは元三井信託銀行役員、元東京インキ常務。倉敷市出身、神奈川県在住。

寄稿

15期 難波 征 男

山田方谷や閑谷学校とともに歩む



昭和37（1962）年の2年1組は、岡節三先生が見守る中で交換日記が大流行しました。私も林完爾君と三宅奎介君と男三人で大学ノートに意見交換。それを読まれた岡先生の示唆で、大学では朱子学や陽明学を専攻しました。クラブはサッカー部で、読書会「歩く」にも参加しました。それから50年。今は郷里の陽明学者・

山田方谷（備中松山藩＝高梁）や閑谷学校の研究、国際儒家生態（エコロジー）連盟の日本代表として中国の環境意識向上に取り組んでいます。

山田方谷をNHK大河ドラマにしようという運動は、岡山を中心に東京や大阪で52万8千人以上の署名が集まり、福岡では九州青陵会の溝手博義会長を先頭に展開しています。方谷が7年間で達成した備中松山藩の財政改革を現在の日本国の借金額に当てはめれば、約600兆円を返済し、加えて同額を貯金、それを原資に藩政全般の改革を成功させたことになります。明治政府からも「大蔵大臣」という話があったほどの方谷のこの手法や人格に学べば、今日の世界経済の危機を打開する道を開くことができるかもしれません。中でも、私は方谷の陽明学思想と教育観に最も注目しています。

国際儒家生態連盟のプロジェクトは、中国を経済だけでなく文化や環境意識の面でも発展させたいというものです。ハーバード大学と北京大学の教授を兼ねる杜維明先生の主導で、国連基金や英フィリップ殿下基金を申請するための活動ですが、日本の伝統思想である崇物論（人は物とともに生存する）を基本理念にしています。まずは中国の大気汚染や環境破壊を根本的に解消できれば、と願っています。

□・・・難波さんは福岡女学院大学人文学部教授。倉敷市出身、福岡市在住。

交歓

同窓の絆で和やかにプレー 青陵ゴルフ会43回コンペに23人



43回目のコンペの参加者が全員集合＝倉敷カントリー倶楽部

今回で43回を数える青陵ゴルフ会コンペが平成25年9月10日、倉敷市二子の倉敷カントリー倶楽部で開かれました。

青陵ゴルフ会（仁科喜佐男会長・5期）は7年前、吉富康郎さん（6期）らが中心になって結成。年6回のペースで開いている定例コンペです。

取材を兼ねて一緒にプレーさせてもらいました。残暑の厳しい中、加川英郎同窓会長（4期）をはじめ倉敷市内外から参加した3期から24期までの23人が和やかにプレーしました。

6組に分かれてスタート。目の覚めるようなナイスショットもあれば、ボールが林の中へ消えることもあり、いつもの好プレー、珍プレーが見られ、卒業期を超えて同窓の絆を深めました。

仁科会長は「以前は40人ぐらい参加してたんですが、みんな年とったんかねえ、減りましたよ。ゴルフ愛好者の皆さん、気軽にどしどし参加してください」と呼び掛けています。

連絡先は仁科会長（086-448-0522）です。

本格的ホームシアタールームを完備した
オーディオプロショップ **カック** 倉敷

オーディオ
ビジュアル
高価買取

Kack
PASSION ZONE AUDIO & VISUAL PRO SHOP
倉敷市笹沖395-7 TEL:086-424-2620
店長 妹尾 行順 [34期]

design & construction
有限会社 **金森建設**
一級建築士事務所

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島133-1
TEL 086-482-0911
代表取締役 金森 憲一 [34期]

チボリ動物医療センター
もの言えぬ「仲間」たちのために。

Tivoli Animal medical Center
倉敷市寿町11-3
086-425-1113
院長 藤原 威信 [34期]

Fresh 1
フレッシュワン
地産地消の店

食材の販売を通じて
地域社会の食文化向上・安心に貢献する

有限会社 **フレッシュワン**
〒700-0975 岡山市北区今3-22-3
TEL 086-245-8866
代表取締役 福田 俊之 [34期]

EDON
エディオンサンエス電器

〒710-0052 倉敷市美和1-2-28
TEL 086-422-0792 FAX 086-422-7504
平田 由美子 [34期]

DESIGN STUDIO
PROJECT-G
www.project-g7.com

代表 久保田 正彦 [34期]

Movement of
type "KURA"
倉式
KURASHIKI
CREATIVE COLLABORATION
www.type-kura.com

倉敷 市庭
KURASHIKI ROJI ICHIBA
毎週土曜日 朝9時～昼3時 雨天決行
http://rojiichiba.exblog.jp/

会員ミニ点描

(平成24、25年、現役を含む)

【就任】

- *津川孝太郎さん(21期)が8月、岡山製紙社長に。「食品や酒の美粧段ボールの営業を強化し売り上げを伸ばしたい」と抱負を述べています。倉敷市在住。
- *近藤康弘さん(27期)が8月、倉敷歯科医師会長に。「長生きするために歯と口の健康維持を呼び掛けていきたい」と語っています。任期は2年。

【受賞】

- *洋画家・福島隆壽さん(元在職教員)が11月、倉敷市文化章を。風土や時代性を人物群像で表現する独自の作風を確立しました。日展会員。
- *佐藤道郎さん(22期)が倉敷市文化連盟賞を。倉敷市民吹奏楽団グリーンハーモニーを創設。現在は岡山県吹奏楽連盟理事長、くらしき作陽大学准教授。
□…「第44号」の掲載漏れ(平成24年11月受賞)につき、失礼しました。平成25年10月には県のおかやま地域文化賞を受賞しました。
- *大森久雄さん(9期)が平成24年12月、くらしきまちや賞を。美観地区に住み景観保全に功績がありました。元高校教諭で歴史研究会「備中倉敷学」顧問。
- *岡荘一郎さん(10期)が1月、山陽新聞賞(産業功労)を。倉敷製帽社長として作業帽の全国シェア50%を達成しました。前倉敷商工会議所会頭。
- *鈴木奈津子さん(青陵2年)が1月、「現代学生百人一首」に入選。「携帯の着信画面に父の顔寂しいんだね単身赴任」。山陽新聞「滴一滴」で紹介されました。
- *大橋健一さん・和子さん 夫妻(18期)が5月、県善行賞(人命救助)を。自転車ごと用水に転落した高齢女性を、他の4人と協力して助けました。

【出版】

- *タレント水道橋博士=本名・小野正芳さん(33期)が、平成24年の年末、「藝人春秋」(文藝春秋刊)=写真=を。芸人15人との交友録。324ページ、1500円。
- *佐藤豊行さん(18期)が11月、「半夏生 戦後生まれの聞き書き『特攻』戦記」を自費出版。226ページ、1500円。元山陽新聞記者で、本紙「青陵」編集委員。



【開店】

- *松田誠介さん(15期)が4月、東京・新宿で経営していた料理店「味処倉敷」を。惜しまれながら35年の歴史に幕を閉じました。東京都在住。

【お願い】

出版された書籍の寄贈をお願いいたします。母校図書館の「同窓会コーナー」に収蔵、生徒たちに閲覧してもらいます。

◎…大手企業の元社長、陽明学の専門家、アナウンサーなど社会の第一線で活躍、またはされた方々に寄稿していただきました。社会の動きが敏感に伝わる、なかなか聞けない貴重なお話です。陽明学は備中松山藩の財政改革で有名な陽明学者・山田方谷のNHK大河ドラマ化を目指す運動が平成24年から岡山県内を中心に展開されており、タイムリーです。

◎…本紙44号の女性芸術家に続いて、今号は流木アート、水彩画、刀剣の男性アーティストに登場いただきました。道を究めた方々の生き方はとても参考になります。将棋の全国制覇当時を振り返る座談会、倉女OGの母校訪問など記事は多彩です。

◎…校友の住所判明者2万5000人全員に配布を始めて3年目になります。多くの方に読んでいただけるよう内容の充実に努めています。また、休刊中の「青陵新聞」復刊に向け、現役新聞部員の研修を始めました。今号には編集委員に同行して取材・執筆した原稿が載っています。次号に向けご協力、情報提供をお願いします。(S)

編集後記

同期会開きました

3期

平成25年8月4日(日)
倉敷アイビースクエア
参加 80名

4期

平成25年8月4日(日)
倉敷アイビースクエア
参加 60名

13期

平成25年8月4日(日)
倉敷アイビースクエア
参加 58名

14期

平成25年4月29日(月)
倉敷国際ホテル
参加 87名(恩師1名)

23期

平成24年9月16日(日)
倉敷アイビースクエア
参加 105名

24期

平成25年8月31日(土)
食亭「大館」
参加 20名

34期

平成25年8月3日(土)
ホテル日航倉敷
参加 63名(恩師2名)

44期

平成25年8月4日(日)
炭火割烹「志乃」
参加 20名

今後の予定 本部総会

平成26年8月3日(日)
午前10時から
倉敷アイビースクエア
当番期…5と6のつく期と
本年度の卒業生です。

東京青陵会

平成26年6月21日(土)
午後6時から
明治記念館

近畿青陵会

平成26年5月25日(日)
正午から
大阪・太閤園

九州青陵会

平成26年10月10日(金)
午後6時30分から
西鉄グランドホテル

岡山県立倉敷青陵高等学校「同窓会だより 青陵」第45号

発行 岡山県立倉敷青陵高等学校同窓会
[事務局] 〒710-0043 岡山県倉敷市羽島1046-2
TEL:086-422-8001 FAX:086-422-8004
e-mail:seiry05@pref.okayama.jp
URL:http://www.seiry0.okayama-c.ed.jp

印刷・デザイン 株式会社サラト 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172

同窓会だより「会員ミニ点描」などの情報をお寄せください。

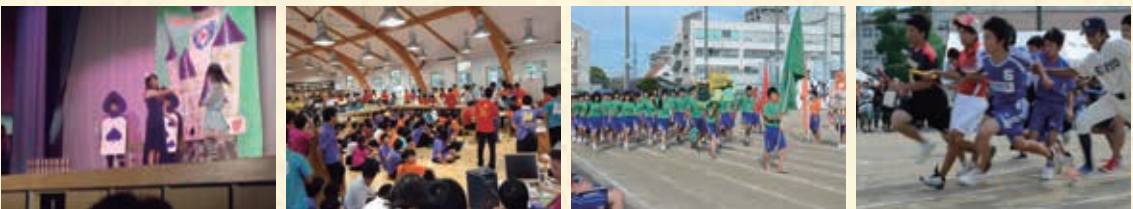
活気溢れ、青花繚乱、!

平成25年9月4日～6日、青陵高校最大のイベント、青陵祭が開催されました。台風の影響を受け、一時はどうなるか心配されましたが、生徒たちの熱気によって、天候を回復させることができました。「青花繚乱」のテーマの通り、活気溢れる多くの「花」が咲き乱れました。

初日の4日から展示、劇など多くの発表がありました。展示では幕末偉人館、貞子んち、ステージでは仮装大賞、白雪姫など。どの団体も雨に負けにくいぐらいの盛り上がりを見せました。天気が晴れた5日からは図書館でのライブ、3年生が中心に行った模擬店が加わり、青陵祭はさらに熱気に包まれました。模擬店ではいくつもの行列が見られ、先生方によるバンド演奏もあり盛り上がりしました。

それまでの雨など嘘のように消え去り、最高の天気となった青陵祭最終日! 各ブロックによる個性的な行進で体育祭がスタートしました。100mや長縄跳びや騎馬戦、20人21脚、リレーなどが続き、大きな熱気に包まれました。ブロック演技では、大人数ならではのダイナミックな動きや一体感のあるダンスが披露されました。また、ブロックの域を越えて互いに応援し合う姿も見られました。青陵がひとつになった充実の青陵祭・体育の部でした。

3日間、我々一人ひとりが今持てる力を最大限発揮することができました。今回の青陵祭で得られた多くのものを今後の生活に生かしていこうと思います。



青陵祭

最新のICT機器を導入!

本年度から私たちの授業は大きく変わりました。全てのホームルームに教材提示装置とスクリーンが設置されることになったのです。先生方はこれらの機器を駆使して、今までとは違う新しい授業を展開します。授業で使う資料を大きく表示したり、生徒がプリントに書いたことを映して皆の前で発表したりするのです。

また、同窓会の方々が学校にiPadを10台寄贈してくださいました。これらの最新機器を授業で使えることは、これからの社会の中で必ず役に立つことでしょう。



ICT機器
&
iPad

早速、iPadで
調べ物をする
生徒たち
=図書館

同窓会が母校にiPad 10台 創立105周年を記念

青陵高校同窓会は平成25年9月、青陵創立105周年を記念して、携帯端末のiPad(アイパッド)10台及び書籍を母校に寄贈しました。経費は付帯工事費を含め100万円です。

iPadは米アップル社が開発したタブレット型のコンピューターで、スマートフォンとノートパソコンの間に位置する製品です。日本では平成22年に発売された先端のIT機器です。

電子書籍の閲読やパソコン機能があり、学校側は図書館に常備して司書が管理。生徒の要望に応じて貸し出すことにしています。

iPadに内蔵する図書を選定作業を進めていますが、「読書のほか保健や総合学習の調べ物など幅広く活用させていただ

寄贈



創立105周年記念で同窓会が寄贈したiPad=図書館

きます」と話していました。多くの生徒に有効利用してもらえれば幸いです。